

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年10月06日

計画の名称	中心市街地地区都市再生整備計画											
計画の期間	平成31年度～令和04年度(4年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	与那原町											
計画の目標	公共施設再編を契機とした賑わい溢れる交流拠点の形成と活力あるまちづくりを目指す。 ・行政機能の充実による住民交流の場の創出 ・歴史と文化を活用したまちづくりの推進											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,229	A	1,229	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (R4末)
1	町民ホールイベント参加者数14,850人(既存公共施設によるイベント参加者数)から23,000人(R4年度)に増加 町民ホールで開催されるイベントへの参加者数	14850人/年	人/年	23000人/年
2	特定健診受診率を45.9%(H28年度)から56.0%(R4年度)へ向上 特定健診を受診する町民の割合	46%	%	56%
3	与那原町軽便駅舎資料館の来場者数7,730人(H29年度)から8,000人(R4年度)に増加 与那原町軽便駅舎資料館の年間来場者数	7730人/年	人/年	8000人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	与那原町	直接	与那原町	—	—	中心市街地地区都市再生整備計画	地域生活基盤施設（誘導サイン）、高質空間形成施設（石畳舗装、カラー舗装）、高次都市施設（町民ホール）等30.5ha	与那原町	■	■	■	■		1,229	—	未策定	
												小計						1,229		
										合計							1,229			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
与那原町	令和5年 4月
	公表の方法 与那原町ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	新型コロナウイルスの影響により目標値には届かなかったものの、町民ホールの整備により確実に町民の利用は向上しており、交流拠点の場として寄与している。また、保健センターの整備により、新型コロナウイルスの影響を受けたものの、特定健診受診率は向上している。関連事業と併せて実施した高質空間形成事業の石畳舗装工事により歴史文化を活かした空間形成を図ることが出来た。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	町民ホール、軽便駅舎資料館、親川広場の3か所を結ぶ回遊性の向上が図られ、中心市街地の賑わい創出と地域の活性化につながっている。

○特記事項（今後の方針等）

整備した施設について、地域住民等の利活用を推進する取り組みを行うとともに、利用しやすい環境、サービス向上に向けた維持管理を行う。また、3拠点の回遊性をさらに向上させ、来訪者増加による相乗効果を図る。



# 参考図面

計画の名称	中心市街地地区都市再生整備計画	交付対象	与那原町
計画の期間	平成31年度 ～ 令和4年度 (4年間)		

